

東海東京財団ニュース

平成 30 年 9 月 13 日

各 位

一般財団法人 東海東京財団
愛知県名古屋市中村区名駅 4-7-1

一般財団法人 東海東京財団 平成 30 年度「祭礼行事伝承助成」助成対象先を決定

一般財団法人 東海東京財団（2016 年 8 月設立、理事長 石田建昭）は、地域の将来を担う人材やグローバルに活躍できる人材の育成、また、地域社会において、国際経済や社会への理解を促す機会の創出、文化・芸術振興などを通じて、地域社会の将来の発展に寄与することを目的といたしております。

平成 30 年度におきましては、愛知県内各地の祭礼行事が、末永く保存・伝承され、発展していくことを願い、平成 30 年 2～5 月にかけて「祭礼行事伝承助成」を行なうことといたしました。合計 21 件のご応募があり、厳正なる選考の結果、9 件の助成対象先（別紙参照）を決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。

なお、本助成事業は 2 年目であり、累計 17 件、8,873 千円の実績となります。

平成30年度「祭礼行事伝承助成」について

1. 実施背景

平成28年11月、全国で33件の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録された。そのうち、愛知県には全国最多の5件が所在している。登録により文化的価値が改めて広く認識されるとともに、地元の活性化、伝統文化全体への波及効果なども期待される。

こうした「山・鉦・屋台行事」に限らず、地域社会に伝わる各種の祭礼行事が県内各地に存在するが、一方で、こうした行事を保存・伝承していくうえでの若い後継者の不足が懸念されているほか、その保存・伝承を継続していくうえでの経済的な支援が求められている。

2. 公募方法および申込期間

公募方法：各自治体の教育委員会等を推薦窓口とし、愛知県教育委員会に書類提出。

申込期間：平成30年3月12日（月）～5月25日（金）

3. 助成対象

愛知県内に存在する伝統的な祭礼行事および民俗芸能等の保存・伝承、後継者の育成のための活動に努めており、下記の項目に該当する団体に対して支援いたします。助成対象となる経費は「用具購入・修繕費、製作材料費等」のみとします。

- (1) 平成31年3月までに、申請した費用の支出を予定していること。
- (2) 団体の負担以外に外部からの資金協力が緊急不可欠であること。
- (3) 市町村教育委員会の推薦がある団体であること。但し、推薦枠は各市町村につき2件までとします。

※次に該当するものは、すべて対象外とします。

- ①平成29年度に本財団から助成を受けている団体
- ②2件を超えて推薦をした市町村に属する団体

4. 助成対象者の決定

本財団の事務局において応募書類等の審査の後、理事会（7月30日）における選考・承認のうえ決定した。

5. 助成決定件数および助成額

- ・平成29年度「祭礼行事伝承助成」 助成申込件数、決定件数および助成金額

申込件数	決定件数	助成金額
21件	9件	4,023千円

※助成決定先、助成金額内訳は別紙をご参照ください。

6. 助成金贈呈式

日 時：平成30年9月13日（木） 15時45分～16時30分

場 所： ミッドランドスクエア オフィス棟8階 東海東京証券プレミアサロン
(愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1)

以 上

(別紙) 平成30年度「祭礼行事伝承助成」助成先一覧

9件 4,023千円

(敬称略)

番号	団体名 (カナ)	市町	申請内容	助成金額 (千円)
	行事名	団体設立	概要	
1	外之原中区獅子神楽伝承会 (トノハラ ナカク シシカグラ デンショウカイ)	春日井市	・大太鼓、小太鼓、台を各1個購入 ・大太鼓、小太鼓の皮張り費用	573
	行事名：外之原中区獅子神楽	1978年	白山神社で住民の無病息災を祈願して神楽及び獅子舞を奉納する。伝承事業(練習)に参加する子供の人数が増加し、太鼓の数が不足して十分な練習ができていない。	
2	菱野文化財調査保存会 (ヒシノ ブンカザイ チョウサ ホゾンカイ)	瀬戸市	・鞍等馬道具の購入	388
	行事名：菱野のおでく警固祭り	2001年	菱野の警固祭りの警固隊で用いられる鞍や馬道具、おでく手綱が経年劣化で使用の継続が難しく、一度壊れれば祭礼の継続が危ぶまれる状況。	
3	小迎区鳳凰車保存会 (コムカエク ホウオウシャ ホゾンカイ)	武豊町	・3点の楽器の購入費(大鼓組上品、小鼓組上品、締太鼓組上品)	563
	行事名：武雄神社例祭	2016年	囃子・からくり人形・三番叟などを奉納する。由緒ある囃子・人形を受け継いでいるが楽器の老朽化が激しく維持管理に限界がある状況。	
4	加家祭倶楽部 (カケ マツリ クラブ)	東海市	・神輿及び獅子頭の修理	700
	行事名：秋の大祭	1989年	昭和50年代から使用しており、部品の破損や色褪せ、塗装の剥がれなど修理が必要。収入源が乏しく経費の捻出が困難である。	
5	牟呂八幡宮神幸祭神事相撲保存会 (ムロ ハチマングウ シンコウサイ シンジスモウ ホゾンカイ)	豊橋市	・神幸祭で使用する羯鼓を新たに購入するための費用	700
	行事名：牟呂八幡宮の神事相撲を中心とした神幸祭	2009年	多くの道具について老朽化が進んでいるが、中でも羯鼓は劣化が著しく本来の音が出ないなど祭礼に支障をきたしている。	
6	平井組保存会 (ヒライグミ ホゾンカイ)	半田市	・舞台の床板の補修費用	220
	行事名：岩滑新田の祭り	1983年	2輛の山車の町内曳き廻しと、神明社で神子舞、三番叟の奉納、餅投げ、囃子の披露などが行われる。祭り開催時に、たくさんの方が舞台を利用するが、床板の劣化が著しく非常に危険な状態であるため早急に修理が必要。	
7	伊久智神社神楽保存会 (イクチ ジンジャ カグラ ホゾンカイ)	東浦町	・大太鼓の皮の張替え費用	700
	行事名：伊久智神社諸祭事	1978年	神に奉納する、大太鼓・締太鼓・笛で獅子舞に合わせて神楽を演奏する。演奏に不可欠な大太鼓について、片方は破れ、もう片方も革が薄くなり破れそうな状態のため張替が必要。	
8	上村組保存会 (ウエムラグミ ホゾンカイ)	美浜町	・祭囃子用の平太鼓の修理費用	125
	行事名：布土区祭礼	1868年	布土神明社の例祭で、3台の山車の曳き廻し、からくり人形の芝居と三番叟を奉納する。平太鼓は皮が破れたものを使用している。	
9	三好下山車保存会 (ミヨシ シモダシ ホゾンカイ)	みよし市	・提灯を刺すものである提さしのきりの修理	54
	行事名：三好八幡社秋の例大祭	1996年	五穀豊穰を願い行われる三好八幡社秋の例大祭にて、山車の引き廻しと奉納とお囃子を行う。提灯を刺すものである提さしのきりが長年使用により痛みが激しく提灯落下の恐れあり。	